

地歴公民科（地理B）単元指導計画・学習指導案

1 単元名 世界の農林水産業

2 単元の目標 世界の農林水産業について、農業地域区分や現代世界の農林水産業の現状と課題、及び世界の中の日本の農林水産業の課題を幅広い視点から考察し、将来への展望を表現する。

3 単元の計画（全10時間）

時	主な学習活動
1	【農業の発達と分布】 MQ：自然環境の制約を受ける農業が変化し、発達するにはどのような条件が必要だったのだろうか。農業地域の区分を気候と社会的条件との関連から考察することができる。
1～2	【世界の農業地域区分】 MQ：自然条件と社会条件はどのように農業地域区分に違いを生み出しているのだろうか。地域により異なる農業地域の分布を理解し、諸条件との関わりについて理解することができる。
3～4	【現代世界の農業の現状と課題】 MQ：農業の国際化がもたらすものはなんだろうか。農業の国際化がそれぞれの国の農業や人々の生活にどのような影響を与えるかを考察することができる。
5～7	【世界の主な地域の農業の区分と特色】 グループワークで中国、東南アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアを整理し、それぞれプレゼンテーションをする。
8	【世界の林業・水産業】 MQ：林業や水産業が持続可能な発展を遂げるためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。世界の森林の特色とその利用を学び、その利用方法と現状から、今後必要とされる開発を考察することができる。また、世界の主要漁場と近年の水産業の変化について考察できる。
9	【日本の農林水産業】 MQ：貿易の自由化が進む中で、日本の農林水産業はどのように対応していくことが必要なのだろうか。日本の農林水産業の特色とそれを取りまく状況を理解し、日本が抱える課題に対してどのように対応していくか、自分なりの意見をまとめることができる。
10	【活用：日本の農産物のグローバル化を図る要件】 MQ：日本の農産物のグローバル化を図るためには、どのような要件が必要なのだろうか。先時の日本の農業の課題解決への意見から、「日本の農業のグローバル化を図る」というものに着目し、ケニアのバラの日本でのシェア拡大の状況を例として、そこから今後の日本の農業のグローバル化を図るために必要な条件について考察し、提案する。 →本時

※本時は、学んだことを活用する場面やパフォーマンス課題の実施などを取り上げる。

4 本時の目標

農業分野のまとめとして、ケニアのバラの栽培と日本におけるシェアの拡大の資料から、以下のことを確認し、今後の日本の農業のグローバル化について考察し、その内容を文章にまとめる。

- (1) 既習事項の農業と気候・地形の関係について判断できる。
- (2) 航空路線図・グラフなどの資料から有用な情報を選択し、読み取り、その情報を使つて的確に分析をまとめることができる。
- (3) これからの日本の農業をグローバル化する際に、生じる課題や必要とされる要件を考察できる。
- (4) 世界の地理的事象について、関心と課題意識を高めることができる。

4 学習の流れ (10 時間目／全 10 時間)

学習活動 (○発問, ●予想される生徒の反応)	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 課題意識をもつ</p> <p>○ 日本の農業の抱える問題と, それに対応する解決策として, どのような意見があるでしょうか。</p> <p>2 本時のめあて (課題) 提示</p>	<p>◇先時に提出したまとめの意見を発表させる。</p>	
<p>本時のめあて：今後日本の農産物がグローバル化していく要件を提案することができる。</p>		
<p>○ 日本の農産物をグローバル化していくために必要なことを考えて, 提言してみよう。</p> <p>例として, ケニア産のバラをとりあげます。ケニア産のバラは, 日本の輸入シェアを 10 年間で大きく伸ばしました。そこから, 農産物のグローバル化を進めるには, どのような要件が必要なのか, 考えましょう。</p> <p>3 既習事項の確認</p> <p>○ バラの栽培に適した場所は世界のどのような地域でしょうか。</p> <p>● 赤道直下の標高の高い所。</p> <p>○ 具体的にそのような国はどこでしょうか。</p> <p>● コロンビア・エクアドル・ケニア・エチオピア。</p> <p>4 グループ活動</p> <p>○ ケニアから日本へバラを輸出する際に克服しないといけないことは何でしょうか。</p> <p>○ バラの日本への運搬には, どのような交通機関が使われるのでしょうか。</p> <p>● 航空機が使われる。</p> <p>○ 航空機で運ぶ時の問題点を考えてみよう。</p> <p>● 直通便がない, 時間がかかる。</p>	<p>◇ 2004 年と 2014 年の円グラフを提示し, 大きくシェアを伸ばした国 (ケニア) を挙げさせる。</p> <p>◇ このグラフで示されている農産物は何か考えさせる。(食料以外のものも, 農産物であることを意識させる)</p> <p>◇10 年間で大きくシェアを伸ばすためには, 何らかの要因があることを意識させる。</p> <p>◇バラ栽培の自然条件を提示し, 「気候」と「地形」を確認させる。</p> <p>◆気候区分の条件を再確認し, 理解を促す。</p> <p>◇地図上で国を確認させる。</p> <p>◆地図で探せない生徒のために, 周囲と確認させる。</p> <p>◇ 克服しないといけない課題の中から, 輸送に係る内容に絞らせる。</p> <p>◇ 使う交通機関の条件を話し合わせ, 途中で航空路線図を提示する。また, 航空路線図の読み方を簡潔に指示する。</p> <p>◆ 日本への経路をなぞらせる。</p> <p>◇ ホワイトボードに列挙させる。</p> <p>◇ 列挙したそれぞれの問題点に対応する解決方法を挙げさせる。</p>	<p>農業のグローバル化の要件について考察できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>

<p>○ 問題の解決にはどのようなことが考えられるでしょうか。</p> <p>● etc・・・。</p> <p>5 本時のまとめ</p> <p>○ 今後の日本の農産物がグローバル化していく要件を班でまとめ、政治家として有権者に自らの政策を提案することを想定して、ホワイトボードにまとめる。</p> <p>● 品質の向上、運搬方法の確保、コールドチェーンの確立 etc・・・。</p> <p>○ グループでまとめられた提案を見て回る。</p> <p>○ 代表の班が発表する。</p> <p>6 振り返り</p> <p>振り返りシートを作成する。</p>	<p>◇ コールドチェーンの例を提示する。</p> <p>◇ 既習の日本の農業が抱える問題点を確認し、その解決の方法の一つとして、あえてグローバル化を進め、シェア拡大を目指す政策をとるとすれば、どのような条件の整備が必要かを考えさせる。</p> <p>◆ 日本の農業の抱える問題を確認させることで、グループ学習に参加させる。</p> <p>◇ 本時で使われた用語を利用して、自分の言葉で表現するようにさせる。</p>	<p>今後の日本の農業の在り方について、他者の意見を参考にしながら、自らの意見がもてる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>
---	--	--